

ICTを活用した離島における高校教育に関するアンケート調査結果概要 (速報版 (令和元年12月末時点))

高校の無い離島（以下「離島」とする。）におけるICTを活用した高校教育へのニーズや課題等を把握し、本検討会の検討に資すること等を目的に、離島の中学生及び離島出身の高校生並びにその保護者や離島自治体等を対象としたアンケート調査を実施し、その集計結果について概要を取りまとめた。

1. アンケート調査の概要

○調査期間：令和元年11月～12月

○調査対象者：離島の中学2年生・3年生及びその保護者、離島出身の高校生及びその保護者、離島自治体、離島の小中学校長

○調査対象自治体（15自治体）：うるま市、南城市、本部町、伊江村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、多良間村、竹富町、与那国町

2. アンケート調査結果の概要【ポイント（最多回答）】

- ① 中学卒業時の進路希望・実績について、中学生、高校生共に全日制高校への進学が最も多い（中：94.3%、高：95.0%）。
- ② 島を離れて生活することについて、中学生、高校生共に「特に何も思っていない」の回答が最も多く（中：45.2%、高：43.3%）、その保護者は「この機会に島を離れてみてもよい」の回答が最も多くなっている（中：48.0%、高：40.8%）。
- ③ 検討中の新しい形態の高校への進学希望について、中学生は「どちらともいえない」（42.4%）が、高校生は「あまり進学したくないと思う」（33.3%）が最も多い。その回答の選択理由として、中学生、高校生共に「高校進学時には島を出たいと思っているから」が最も多くなっている（中：33.0%、高：27.1%）。
- ④ 離島における教育の不満点について、中学生は「不満な点はない」（37.3%）、高校生及び中学生の保護者は「高校・大学が無い」（高：42.6%、中保：38.4%）、高校生の保護者は「生徒数が少ない」（39.2%）の回答が最も多くなっている。
- ⑤ 離島における教育の課題について、小中学校長は「児童・生徒が多様な価値観・意見に触れる機会が少ない」（83.3%）、離島自治体は「児童・生徒の人間関係が固定化している」（77.8%）の回答が最も多くなっている。

3. アンケート調査結果【抜粋】

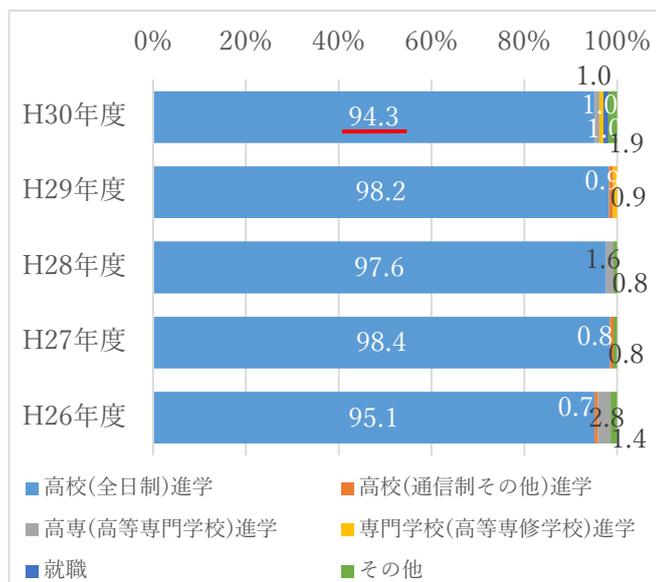
(1) 中学校卒業後の進路実績及び進路希望について

①中学校卒業後の進路実績について

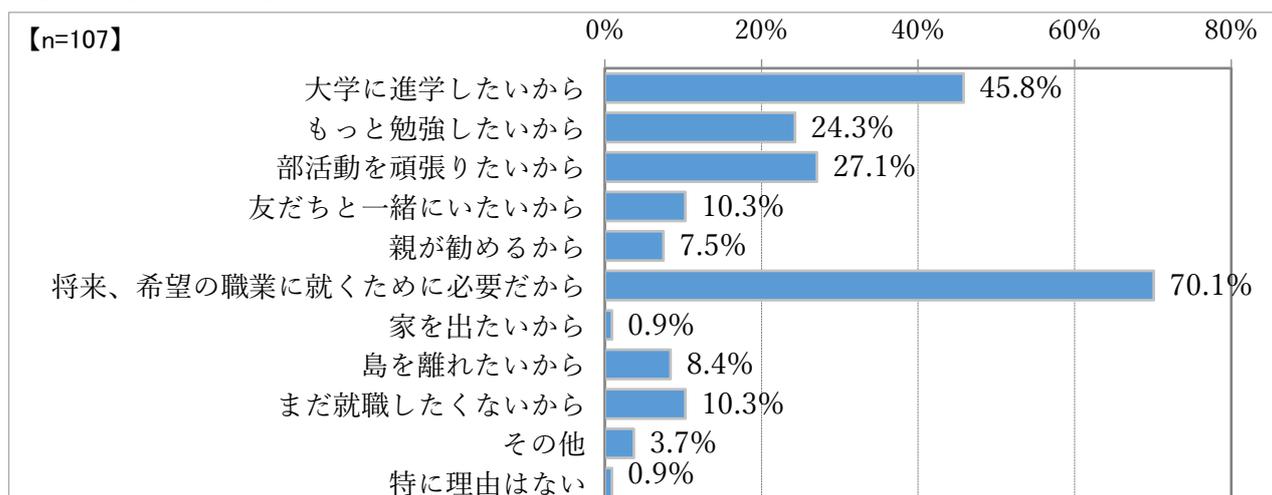
高校（全日制）進学が最も多く（H30年度：94.3%） になっている。

・中学校卒業後の進路実績（H26～H30年度）（数量回答）

	H26	H27	H28	H29	H30
高校(全日制)進学	136	126	123	112	99
高校(通信制その他)進学	1	1	0	1	0
高専(高等専門学校)進学	4	0	2	0	1
専門学校(高等専修学校)進学	0	0	0	1	1
就職	0	0	0	0	1
その他	2	1	1	0	2
	143	128	126	114	105



・進路の選択理由（複数回答）

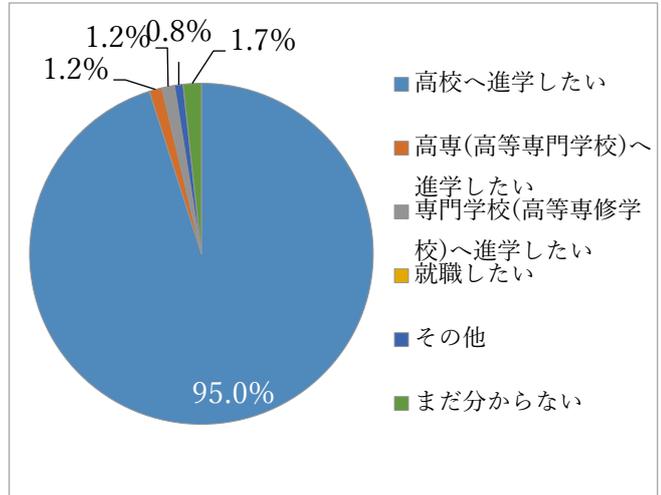


②中学校卒業後の進路希望について

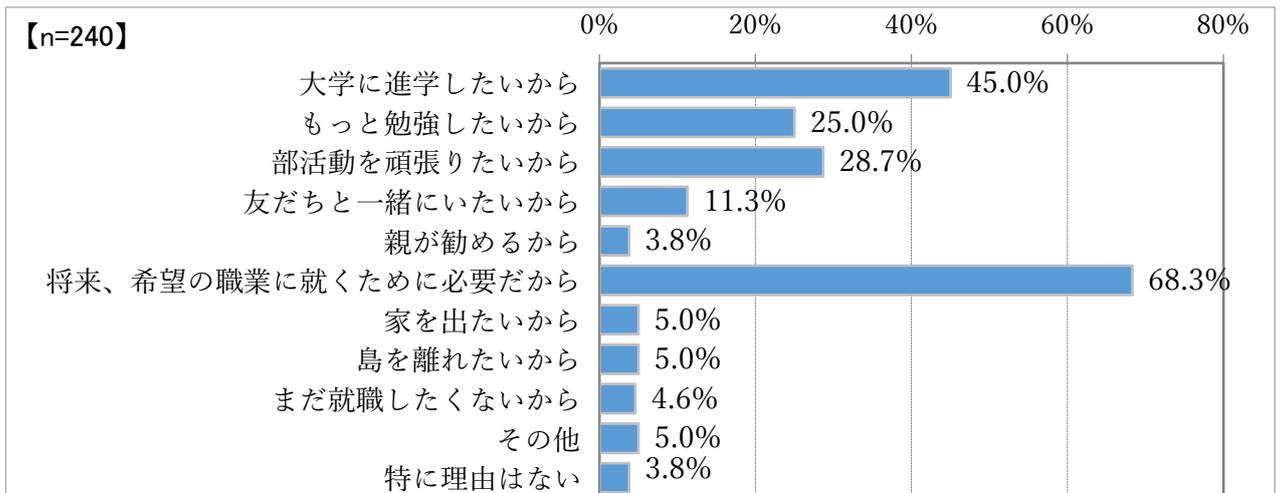
高校進学が最も多く (95.0%) となっている。

・中学校卒業後の進路希望 (単一回答)

回答	件数	割合(%)
高校へ進学したい	229	95.0
高専(高等専門学校)へ進学したい	3	1.2
専門学校(高等専修学校)へ進学したい	3	1.2
就職したい	0	0.0
その他	2	0.8
まだ分からない	4	1.7
合計	241	99.9



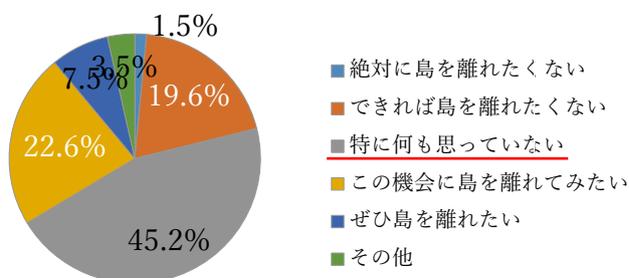
・進路の選択理由 (複数回答)



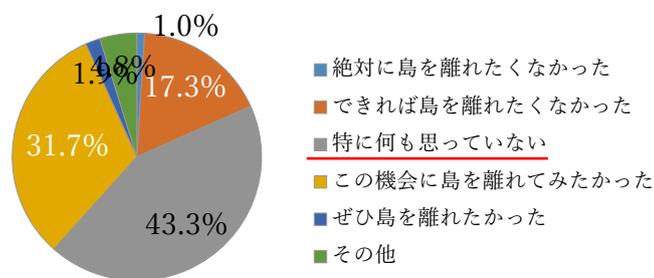
(2) 島を離れて生活することについてどう思うか(単一回答)

①中・高校生

「特に何も思っていない」が最も多く(中：45.2%、高：43.3%)、次いで「この機会に島を離れてみたい」(中：22.6%、高：31.7%)、その次に「できれば島を離れたくない」(中：19.6%、高：17.3%)となっている。



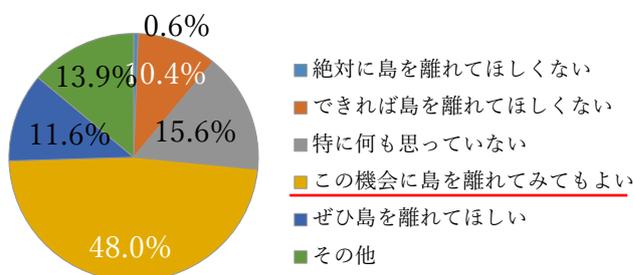
中学生【n=199】



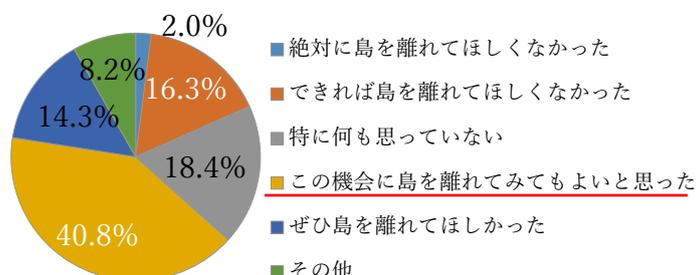
高校生【n=104】

②中・高校生の保護者の進学希望(単一回答)

「この機会に島を離れてみてもよい」が最も多く(中：48.0%、高：40.8%)、次いで「特に何も思っていない」(中：15.6%、高：18.4%)、その次に中学生の保護者については、「その他」(13.9%)、高校生の保護者については、「できれば島を離れてほしくなかった」(16.3%)となっている。



中学生の保護者【n=173】



高校生の保護者【n=49】

(3) 検討中の新しい高校に対する進学希望と理由

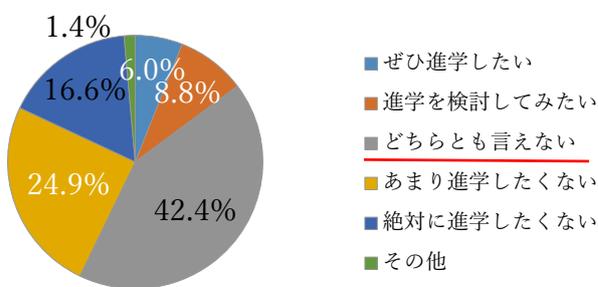
①中学生・高校生の進学希望（単一回答）

中学生は、「どちらとも言えない」(42.4%)が最も多く、次いで「あまり進学したくない」(24.9%)、その次に「絶対に進学したくない」(16.6%)となっている。

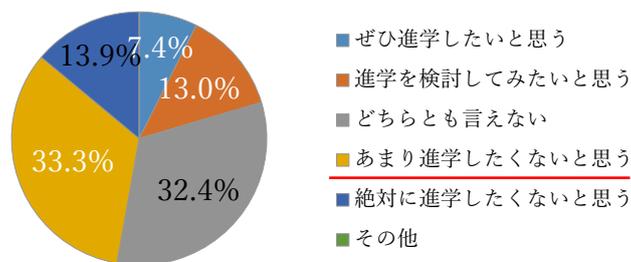
その理由として、「高校進学時には島を出たいと思っているから」(33.0%)が最も多く、次いで「ICTを活用したイメージがわからないから」(29.9%)、その次に「部活動ができなさそうだから」(22.3%)となっている。

高校生は、「あまり進学したくない」(33.3%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(32.4%)、その次に「絶対に進学したくない」(13.9%)となっている。

その理由として、「高校進学時には島を出たいと思っているから」が最も多く(27.1%)、次いで「部活動ができなさそうだから」(23.4%)、その次に「ICTを活用したイメージがわからないから」(18.7%)となっている。



中学生【n=217】

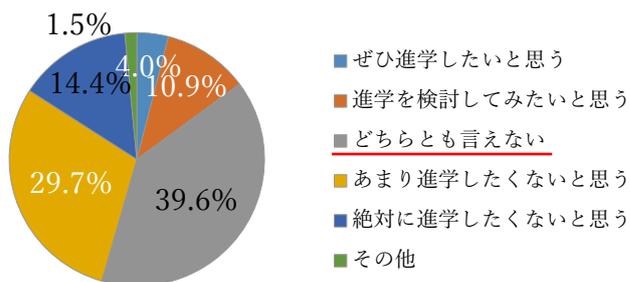


高校生【n=108】

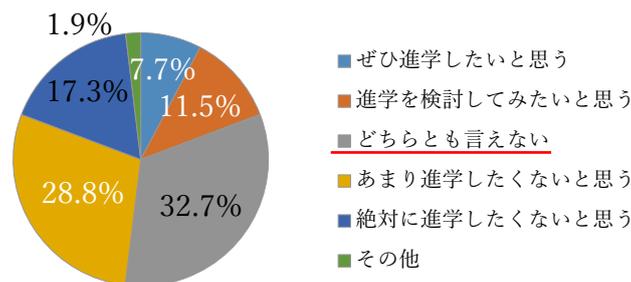
②中・高校生の保護者

いずれも「どちらとも言えない」が最も多く(中：39.6%、高：32.7%)、次いで「あまり進学したくない」(中：29.7%、高：28.8%)、その次に「絶対に進学したくない」(中：14.4%、高：17.3%)となっている。

その理由として、中学生の保護者は、「部活動ができなさそうだから」(31.1%)と「ICTを活用したイメージがわからないから」(31.1%)が最も多く、次いで「高校進学時には島を出たいと思っているから」(27.0%)となっている。高校生の保護者は、「高校進学時には島を出たいと思っているから」が最も多く(32.7%)、次いで「部活動ができなさそうだから」(30.8%)、その次に「ICTを活用したイメージがわからないから」(26.9%)となっている。



中学生の保護者【n=202】



高校生の保護者【n=52】

・検討中の新しい高校に対する進学希望の選択理由(複数回答)

回答	中学生 【n=197】	中学生の 保護者 【n=148】	高校生 【n=107】	高校生の 保護者 【n=52】
家から通学できるから	13.2%	11.5%	17.8%	19.2%
自分の学力に合った授業を受けることができ そうだから	15.2%	20.3%	15.9%	13.5%
友だちと一緒に通学できるから	8.1%	6.1%	6.5%	0.0%
自由に活動できる時間が多そうだから	6.6%	4.7%	6.5%	7.7%
大学受験に不利そうだから	17.8%	7.4%	15.0%	9.6%
高校進学時には島を出たいと思っているから	33.0%	27.0%	27.1%	32.7%
部活動ができなさそうだから	22.3%	31.1%	23.4%	30.8%
ICTを活用したイメージが分からないから	29.9%	31.1%	18.7%	26.9%
その他	10.2%	16.9%	15.0%	17.3%

(4) 離島における学校生活や教育の不満点・教育上の課題

①離島における学校生活等の不満点(中高校生、その保護者)(複数回答)

中学生については、「不満点はない」が最も多く(37.3%)、次いで「高校・大学がない」(32.0%)、その次に「学校の生徒数が少ない」(18.9%)となっている。

高校生については、「高校・大学がない」(42.6%)、次いで「不満点はない」(37.0%)、その次に「学校の生徒数が少ない」(18.5%)となっている。

中学生の保護者については、「高校・大学がない」(38.4%)が最も多く、次いで「学校の生徒数が少ない」(30.0%)、その次に「不満点はない」(21.7%)となっている。

高校生の保護者については、「学校の生徒数が少ない」(39.2%)、次いで「高校・大学がない」(37.3%)、その次に「小中学校で同級生が変わらない」「良い先生が少ない」(21.6%)となっている。

回答	中学生 【n=228】	中学生の 保護者 【n=203】	高校生 【n=108】	高校生の 保護者 【n=51】
学校の生徒数が少ない	18.9%	30.0%	18.5%	39.2%
小中学校で同級生が変わらない	8.3%	19.2%	6.5%	21.6%
良い先生が少ない	14.0%	14.3%	3.7%	21.6%
自分の学力に合った教育が受けられない	9.2%	10.8%	3.7%	9.8%
校舎や校庭が狭い	2.2%	0.5%	5.6%	0.0%
パソコンなどのICT環境や図書室など設備 が充実していない	8.8%	7.4%	6.5%	11.8%
保護者や地域の方々が学校に無関心	0.0%	2.0%	0.0%	3.9%
高校・大学がない	32.0%	38.4%	42.6%	37.3%
その他	7.5%	14.3%	2.8%	7.8%
不満点はない	37.3%	21.7%	37.0%	15.7%

②離島における教育上の課題（離島自治体、小中学校長）（複数回答）

離島自治体においては、「児童・生徒の人間関係が固定化している」（77.8%）、「児童・生徒が多様な価値観・意見に触れる機会が少ない」（66.7%）、「部活動の種類や活動範囲に制約が大きい」（66.7%）、「文化的刺激（図書館・美術館・博物館等）が少ない」（55.6%）となっている。

小中学校長においては、「児童・生徒が多様な価値観・意見に触れる機会が少ない」（83.3%）、「児童・生徒の人間関係が固定化している」（79.2%）、「文化的刺激（図書館・美術館・博物館等）が少ない」（70.8%）となっている。

回答	離島自治体 【n=9】	小中学校長 【n=24】
児童・生徒が多様な価値観・意見に触れる機会が少ない	66.7%	83.3%
児童・生徒の学力水準が低い	44.4%	12.5%
児童・生徒の人間関係が固定化している	77.8%	79.2%
教員の人数が少ない	33.3%	50.0%
プログラミング教育や英語学習など新しい教育課程を十分にこなせない	33.3%	29.2%
文化的刺激（図書館・美術館・博物館等）が少ない	55.6%	70.8%
部活動の種類や活動範囲に制約が大きい	66.7%	66.7%
学習塾や習い事の機会が少ない	33.3%	62.5%
その他	22.2%	0.0%
特に課題はない	0.0%	4.2%

(参考)アンケート調査票配布数

中学生：370人、中学生の保護者：370人、高校生：183人、高校生の保護者：183人、
離島自治体：15自治体、離島の小中学校：40校